第15回 聞き書き甲子園フォーラムが行われました

15周年!

ファミリーマートは店頭募金「ファミリーマート夢の掛け橋募金」の寄付先のひとつである国土緑化推進機構を通じて、将来世代の育成に取り組む認定NPO法人共存の森ネットワークを2006年より支援しています。

共存の森ネットワークは“「人と自然」「人と人」「世代と世代」をつなぐ”をテーマに活動を展開しており、その活動の中の一つである「聞き書き甲子園」での活動の成果を報告する、「聞き書き甲子園フォーラム」が3月18日に開催されました。

2017年3月18日（土）
東京大学　弥生講堂一条ホール

聞き書きを通じて持続可能な社会を考える「聞き書き甲子園」

「聞き書き甲子園(※)」は、日本全国の高校生が森や海・川の名手・名人を訪ね、知恵や技術、人生そのものを「聞き書き」し、記録する活動です。

日本人は森や川、海の自然を守り育て恵みを得るなかで、自然と共生し、持続的に暮らす知恵や技を培ってきました。しかし、高度経済成長を堺に石油などの地下資源に頼る生活へと変化し地域と自然のつながりが希薄化してしまいました。それによって地球温暖化や異常気象、森林の減少など様々な環境問題を引き起こし、世界中の人が日本人のような暮らしをはじめたら、地球が約２.４個必要になるといわれています。

こうしたなか、自然ともに生きてきた伝統的な暮らしのなかにこそ、これからの持続可能な社会を考えるヒントがあるのではないかという趣旨で、2002年より「聞き書き甲子園」は始まりました。

毎年全国の高校生100人が参加し、造林手、炭焼き職人、木地師、漁師、海女など、自然と関わるさまざまな職種の“名人”を訪ね、一対一で「聞き書き」をします。「聞き書き」とは、話し手の言葉を録音し、一字一句すべてを書き起こしたのち、ひとつの文章にまとめる手法です。

高校生はこの活動を通じて名人の知恵や技、そして生きざまやものの考え方を丸ごと受けとめ、学ぶことで、森、海、川といった自然、そして世代を超えた人と人とのつながりの大切さを知り、そこから人と自然が共存する持続可能な未来を築いていく一歩を踏み出します。

(※)「聞き書き甲子園」は認定ＮＰＯ法人共存の森ネットワーク、農林水産省、文部科学省、環境省、公益社団法人国土緑化推進機構、公益社団法人全国漁港漁場協会、全国内水面漁業協同組合連合会の７者からなる実行委員会が主催しています。

<聞き書き甲子園の流れ>

8月　9月　１０月　１１月　１２月　1月　2月　3月

8月中旬 聞き書き事前研修
- 聞き書き手法の学習・実践
- 名人の知恵や技を学ぶ

9月上旬 計画づくり
- 名人について調べる
- 質問内容を考える
- 名人への連絡や訪問日時を決める

9月中旬～１２月 聞き書き取材
- インタビューを実施し、録音する
- 録音テープを書き起こす

１２月～1月初旬 レポートづくり
- 書き起こした原稿をもとにレポートをまとめる

3月１８日 フォーラム
- 成果の公表
- 代表高校生と名人による発表

「聞き書きフォーラム」で成果の発表をしました！

聞き書きフォーラムは一般にも公開され、全国から「聞き書き」を終えたばかりの高校生の他、初回から聞き書き甲子園を支援している文筆家の阿川佐和子さん、作家の塩野米松先生が出席し、関係団体の挨拶や優秀作品賞の表彰、代表の高校生と名人３組による体験の発表がありました。

自分の住む土地から遠く離れた名人が住む地へ「また行きたい！」と話す高校生の姿や、名人が話している間マイクを持ってあげたり、登壇を助ける姿に高校生と名人が聞き書き甲子園を通じて深い絆で結ばれたことを感じました。参加した高校生たちは、日本の伝統的な技術を知るだけでなく名人の生き方を学び、感謝の気持ちを持つことや、人と人とのつながりの大切さに気づき、自分自身でも成長を実感していました。

一人で名人のもとへ赴き「聞き書き」を行い、名人の話すべてを文字におこし、レポートを作成する「聞き書き甲子園」への参加することで、高校生たちは今まで知らなかった日本の伝統文化の素晴らしさを学び、感じたことのない達成感を得ることができ、人生での貴重な経験となりました。

ファミリーマート ＣＳＲ担当マネジャー浜尾より高校生への労いと15周年を迎えた聞き書き甲子園への祝辞をのべました

優秀作品賞の表彰。登壇した高校生は大勢の方に見守られ、緊張しながらも達成感に溢れた顔をしていました

体験の発表では聞き書きを通じて学んだ名人の技術や名人の人生を高校生が会場の皆さんに伝えました

名人と高校生のアイコンタクトやお互いを思いやる姿に深い絆を感じました

茅葺き職人である名人が実際に使用している道具の展示

フォーラム終了後、高校生たちは久々に再会した名人と交流をしていました

店頭募金「ファミリーマート夢の掛け橋募金」を通じて「聞き書き甲子園」を支援しています

ファミリーマートは、２００６年より店頭募金「ファミリーマート夢の掛け橋募金」を通じ、こどもたちと地球の未来のために活動を行うＮＧＯ/ＮＰＯと協働で事業に取り組んでいます。
全国のファミリーマート・サークルK・サンクスの店舗でお預かりした募金の一部は株式会社ファミリーマートからの一定額のマッチングギフトを加え、公益社団法人国土緑化推進機構への寄付を通じて、「聞き書き甲子園」の活動に役立てられています。

皆様からのあたたかいご支援、ありがとうございました。

【関連ページ】
■聞き書き甲子園ホームページ
http://www.foxfire-japan.com/
■NPO法人共存の森ネットワーク
http://www.kyouzon.org
■ファミリーマート夢の掛け橋募金
http://www.family.co.jp/company/csr/commitment_to_society/action/bokin.html

ファミリーマートは、事業活動を通じて常にお客さま、地域社会、そして地球を幸せにする存在となることを目指します。